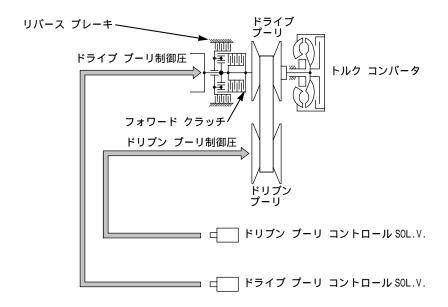
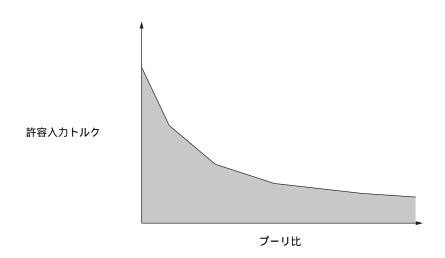
DTC 解説

DTC P1899: ドライブ プーリ コントロール SOL.V. OFF 固着、またはドリブンプーリ コントロール SOL.V. ON 固着

検知原理解説



01_P1890P_SYYB00



01_P1899G_SZWA00

ドライブ プーリ コントロール SOL.V. およびドリブン プーリ コントロール SOL.V. は、油圧回路内の油圧の制御を行う。ドライブ プーリ コントロール SOL.V. およびドリブン プーリ コントロール SOL.V. 内のスプールは、PGM-FI ECU により電流値に変換されたデューティ(負荷)出力に応じてバルブを押す。結果、スプールに押されたバルブは、電流値に比例した油圧を開放する。

PGM-FI ECU は、ドライブ プーリ コントロール SOL.V. およびドリブン プーリ コントロール SOL.V. のリニア ソレノイド に流れる電流を測定し、デューティ出力の指令電流と比較した結果の差分をフィードバック制御している。

PGM-FI ECU は適切な変速を行うために、ドライブ / ドリブン プーリ油圧の制御信号を出力する。 インギヤ (駆動力伝達状態)車両停止時のプーリ比がオーバ ドライブ、かつ発進時の推定入力トルクが所定値より小さく 走行状態でベルト スリップの発生がない場合、PGM-FI ECU はドライブ プーリ コントロール SOL.V. の OFF 固着またはド リブン プーリ コントロール SOL.V. の ON 固着と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の)検知順序	なし
検知所要時間	再現テスト手法による
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯: 消灯、D 表示灯: 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限 上限
エンジン回転数 [エンジン回転数]	500rpm
車速[車速]*	5km/h
アクセル ペダル ポジション	4 ° **
セレクト レバーのポジション	D
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0122

*:症状1

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

次のいずれかの場合。

- ・症状 1 かつ症状 2-A が発生した場合。
- ・症状 1 かつ症状 2-B が発生した場合。

7.	定状	車両の状態	PGM-FI ECUの検出する情報
1		インギヤ停止	プーリ比が 0.3 超過、0.6 未満で 2.5 秒間以上継続
2	2-A	発進	入力トルク過小
	2-B	走行	プーリ比が 3.0 超過

推定故障部位

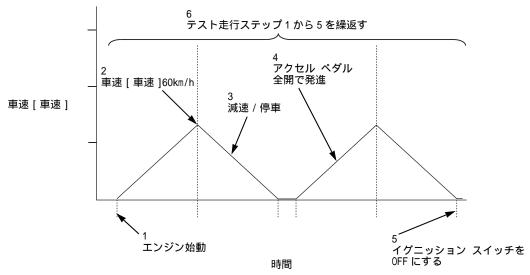
- ・ドライブ プーリ コントロール SOL.V. の OFF 固着
- ・ドリブン プーリ コントロール SOL.V. の ON 固着

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



01_P0746D_SZWA00

- 1. エンジンを始動する。
- 2. 車速 [車速] が 60km/h になるまで走行する。
- 3. 減速 / 停車する。
- 4. アクセル ペダルを全開にして発進する。
- 5. 減速 / 停車しイグニッション スイッチを OFF にする。
- 6. テスト走行ステップ1から5を繰返す。
- ・テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリ端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。